

岡山県西栗倉村を拠点とする任意団体ちぐさ研究室の活動報告

川上えりか・清水美波
(任意団体 ちぐさ研究室)

はじめに

私たち「ちぐさ研究室」は、2021年春に岡山県西栗倉村に移住してきた2名による、西栗倉村を拠点に山や森林に親しむ場をつくる団体である。

子どもから大人まで、森林に興味がある人もない人にも、気軽に森林に触れ楽しむ多様な切り口を作ることを目的に結成した。現在は、主にあわくら図書館での村民講師企画「やまと森の知らない世界」の企画運営や、森林ガイド、その他植物に関する情報発信などを行っている。

活動①あわくら図書館村民講師企画「やまと森の知らない世界」

あわくら図書館の「村民講師企画」の1つとして、シリーズ講座「やまと森の知らない世界」を2021年6月より開始し、令和5年1月末現在で全17講座を実施してきた。4歳から70歳まで、幅広い世代の参加者延べ120名に参加頂いており、図鑑の使い方や植物生態に関する座学、毎木調査や土壌生物調査を体験する調査ワークショップ、森林散策、実験と多様な切り口での企画を心がけている。

参加者からは「森林の解像度が上がった」「普段気につけない森林のことが知れて楽しかった」といった声を多く頂いており、特に調査ワークショップが好評で、「今までにない視点で森林と触れた」という感想を多く頂いた。来年度も4講座開催予定である。



写真1 あわくら図書館講座第1回
「樹木の名前を知ろう」の様子



写真2 あわくら図書館講座第12回「調査に
挑戦しよう! ~土の生き物編~」の様子

活動②調査・研究活動

2022年9月より、村内の森林での調査活動を開始し、地区ごとや地形の特徴ごとに調査区を設定し、試験的に毎木調査、土壌生物調査などを実施している。来年度以降はさらに高精度や広範囲での調査の実施を予定している。そのほか、自然史全般の記録のため、昆虫の採集、動物の骨格標本の制作、植物標本の作製など、多分野での収集活動も行っている。

活動③情報発信

西栗倉や周辺地域の山の植物の情報や豆知識、日々の活動について毎日22時にTwitterにて発信している。ホームページ・noteでも講座の開催情報や活動の情報など、最新情報を更新している。



写真3 毎木調査の様子



写真4 骨格標本作成の様子

今後の展望

村内の無人駅舎の待合室に、西栗倉の森林の歴史と動植物の常設展示、標本作りなどのイベント開催などを行う活動拠点「ちぐさ頭微室」を2023年3月18日に開設する予定である。この場所を拠点として、一緒に山へ調査に行ってみたい、標本を作ってみたい、展示をしてみたい、など一緒に調べたりチャレンジしたりしながら、森に対する好奇心や探求心をバックアップできるような場所にしたと考えている。今後も活動を通じて、森に触れる・関わる多様な切り口を提供していきたい。